

核兵器禁止条約 第3回締約国会議 報告

今が動くとき！

2025年3月20日
反核法律家協会
核フォーラム

荒木 さくら
ABC for PEACE
反核医師の会

もくじ

1

自己紹介
所属団体

2

核兵器禁止条約
締約国会議に
参加して

3

これからのこと

自己紹介



荒木さくら

出身：熊本県

大学：岡山大学

趣味：登山、ハロプロ、SUPER EIGHT

仕事：医師2年目

所属：ABC for PEACE

反核医師の会

「平和が医療の前提」



ABC FOR PEACE

Action and Bridge by healthCare workers for PEACE

反核医師の会の理念に共感した医療・福祉職で働く若手が集まり、主体的に反核運動をしていこうと結成。

グループ名には地域や世代の懸け橋になり核廃絶の担い手にいっぽずつ成長していきたいとの思いを込めています。

母体である「核戦争に反対する医師の会(反核医師の会)」は原爆医療に携わった先輩医師たちが立ち上げた団体。

住民の生命を守るため医師の勤めは核兵器を使わせない(予防)ことだという理念のもと活動。

核兵器をなくす 国際市民フォーラム



2月の国際市民フォーラムで医療者・弁護士・教師を集め仕事をしながら反核運動をしていくことについて語り合う企画を開催。

日本反核法律家協会から大住広太さんをお呼びしました。

締約国会議に参加した経緯

国際会議に行けるワクワク！



- 反核医師の会では第2回締約国会議から医師と医学生を派遣。
- 核兵器禁止条約の盛り上がりを感じたい！
- 市民社会が国際会議に参加するとはどういうことなのか知りたい。

参加スケジュール

2

ICAN
Campaigner's meeting

3

本会議スタート！
IPPNW Youth企画

4

3MSP for Youth
朝鮮被爆者による裁判
世界のピースアクション

5

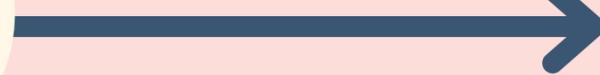
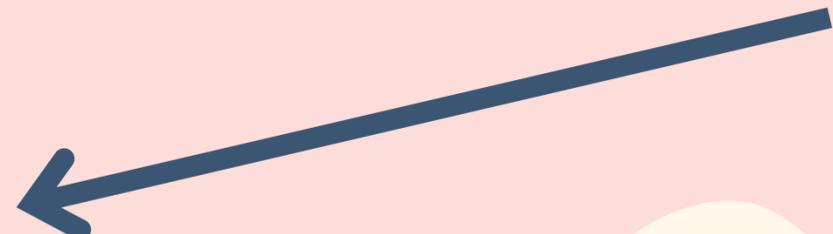
平和行進
日本の被爆者運動
TPNWとジェンダー
核被害者救済を考える

6

核被害者フォーラム
核兵器と持続可能性

7

本会議最終日
政治宣言



核兵器をめぐる 世界の動き

- 核兵器の使用リスクの高まり
- カザフスタンやマーシャル諸島の核実験被害
- 核兵器を手放した南アフリカ



キリバスのタラエム・タウカロさんが核被害者コミュニティを代表して発言。



カザフスタン被爆4世ダイアナさん（右）

市民社会が 参加する意味

平等な合意形成の実践を目指している。
各国が対等な立場で意見を交わし、
市民社会も交えて新しい世界のかたち
をつくっている条約。



Genuineの徳田悠希さん

韓国人被爆者による 米国の核兵器使用責任を問う 国際民衆法廷



パクチョンスンさん（右2人目）
は強制労働で移住した先の
広島で被爆。
「核兵器が存在する限り、
私たちに本当の平和は訪れない」

つながる ひろげる

アクティビストが沢山！

核兵器廃絶を共通目標に
組織や国の障壁を飛び越えたい！



核兵器禁止条約 のめざす社会

核兵器は世界の不平等、不正義を象徴する存在。

恐怖や経済的力関係で相手を従わせようとする国際関係の在り方を続けるのか。

日本の在り方も問われていく。



まだまだやることは山積み！

活動の記録、研究成果の発表、仲間増やし、
他団体との連携、核被害を知る...etc

いっぽいっぽ
今、動くことが大事！

ご清聴
ありがとうございました。

今後も
よろしくお願ひします。



各種SNSリンク